

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

木炭銑増産計画ニ於テ日鐵ノ担任ニ就テ

一、前言

二、四、七、 作業局長

四月七日軍需省ニ於テ石田技師可會ノ下ニ木炭銑増産計画案ノ説明アリタル
後製造担任者ノ第一次選衛アリ日鐵ハ三ノ所ニ設立ヲ勸奨セラル
又小型炉ノ場合ト同様要員一部ノ供出剩余要員ハ教育並ニ所要機器一括
調達ヲ希望セラル其ノ状況並ニ作業局長意見ハ次如シ

二、日鐵経営地

不岩牛縣

角五七炉一

(計画ハ三基)

意見

丸一〇七炉一

(計画ハ二基)

金石ノ原料炭、銑石、木炭等類又ハ金石ノ既有経験ヲ勘案シ引受ケ差支ナシ
立地ハ才炭取得ヲ主トスレバ山田線川内駅附近銑石ヲ主トスレバ大橋附近ヨリトス
依テ金石製銑トシテ至急現地ヲ視察セシ其意見具申ニ依テ決定ヲ可トス
口秋田縣 角五七炉一 (計画ハ一基)
意見

銑石ハ島海附近ノ「リエナイト」ヲ使用ス木炭集配駅附近ニ設置スルヲ可トス
本炉ヲ経営スルマ否ハ金石本来ノ作業ノ継続可能規模ト技術工賃ノ割愛能
否ニ係ル故ニ慎重検討ヲ要ス若シ金石ニ経験アリテ割愛ニ得ルナラハ受諾スベシ
此ノ場合立地ハ「リエナイト」同様銑石ヲ主トシテ調査セシム
ハ大分縣 角五七炉一

銑石ハ鹿兒島縣及附近ノ砂鉄並ニ褐鉄銑ヲ使用ス
意見

八幡ハ砂鉄銑区ヲ自力開発スルモワトセバ寧ロ熔銑片ニ使用ヲ希望シテ交通
寸断地区別生産ニ移行セサルヲ得サルヘキ現状勢ニ鑑ル時他社ヲ指導「ロル
甲原料自給ノ目的ヲ以テ先經營業ニ當ルヲ適當ト認ム 立地ニ就テハ八幡ヲ
テ實地踏査セシムルヲ可トスルモ 戦局ノ推移ヲ考慮スル時ハ成ルベク殷賑ナル市街地
附近ヲ避クルヲ可トス

二、人員、養成

石田技師ハ一炉三十人總算約二〇〇名ノ要員ニ對シ次ノ如キ希望ヲ述ベタリ

役付工賃 三 (組長一、班長二、晝夜勤各一)

技能工賃 五 (送風機、電動機等ノ取扱)

一般工賃 二

役付工賃供出ノ割當次ノ如ク予定ス

日鐵 四八 鋼管 一〇 中山 三二、 尾崎 八、 壽 八、 大同 八

往來 八 其他 一

(日鐵四八ハ輪西ニハ銑石一〇八隣ニハ広畑五ト腹案ス)

尾崎以下ハ供出不可能ナルヲ知シタル時ハ日鉄ヨリ供出ヲ望ム
役付工賃、教育ハ三月トシ二十日學課教育ヲ行ヒ残余ハ左ノ既設稼働工場ニ於テ
實習ヲ行フ

日立島上工場（島根）大阪特殊製鉄黒坂工場（島根）櫻井工場（島根）
石産宝木工場（島根）大阪特殊製鉄熊本工場（熊本）日立小林工場（宮崎）
本役付工賃、教育ハ日鉄ニテ引受ヲ望ム 廣畑所長トノ協議ニテハ
教育班長 山岡技師長

副班長 香春製鉄部長、谷口製鉄部長

幹事 八木技師

ヲ適當トスル結論ニ達シ廣畑所長ハ本社ノ指示アレハ実施スヘシト云ヘリト
以上研究調査教育ニ要スル費用ハ一括日鉄ニ支出シ置キ技術工賃ヲ各社ニ引
渡セル時実費ヲ要求戻入スルコトハシメシ
意見

技術工賃、供出能否ハ懸念テ原料事情ヨリ休炉敷如何ニアリ 輪西ハ唯ノ
原料計在地作業計ニテ超全操業ヲ課セラルヲ以テ供出不可能ナルヲ
其他作業計ニ空襲原料事情等ヨリ臨時撤廢置ヲ要スルコトヲ以テ作業計全
休業ヲ行フモノ以外製鉄部長ヲ割愛スル得ズ且空襲ノ激化ハ必然交通ノ障
害ヲ生スベキヲ以テ教育ノ一括監督指導ノ如キハ恐ラシク望ミ得サルベシ
故ニ研究調査教育共各軍需管理部ニ担任班ヲ設ケテ実施シ当社各地區作
業計ハ地區軍需管理部ト協議シ可能ノ範圍ニ於テ人集ヲ供出スルニテ技術的
之ヲ援助スルニ止ムルヲ妥當トス（一）

四 機器、調達

小型炉ノ場合ト同様日鉄ニ於テ一括調達ヲ望ム
意見

教育ノ場合ノ理由及統制愈強化サレタル情勢ニ鑑ミ軍需管理部ニテ地區別ニ
調達ニ任スルヲ適當トス 但レ日鉄トシテハ可能ノ範圍ニ於テ技術的援助ハ之ヲ
惜ムスニ非ズ